

令和6年度 第2回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議・シンポジウム

# 家族支援について

NPO法人高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」

高次脳機能障害者サポートセンター笑い太鼓 施設長 加藤 美由紀



# 笑い太鼓あゆみ

1998年 当事者家族（3家族）により2か月に1度会合の場を作る

2000年 無認可の施設「作業所ヤモリ」として活動 通所者4人

2001年 「身体障害者小規模授産施設 工房 笑い太鼓」と改名 通所者10名

2006年 特定非営利活動法人高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」設立

←モデル事業

地域活動支援センター笑い太鼓 運営開始

←支援普及事業・自立支援法

運営主体が『家族会』から『NPO法人』へ移った

「笑い太鼓」の家族支援は法人事業所が主体となっていく

→ 現在はファミリークラブを開催

2008年 相談事業を開始 高次脳機能障害相談支援センター（豊橋）

名古屋での事業を開始 高次脳機能障害者サポートセンター笑い太鼓（名古屋）

2010年 名古屋でも相談事業を開始 高次脳機能障害相談支援センター笑い太鼓名古屋（名古屋）

2019年 愛知県より高次脳機能障害支援拠点機関を委託されている

# NPO法人「笑い太鼓」の活動目的

高次脳機能障害者の社会参加を支援します

## 1. 高次脳機能障害の研修・啓発活動

講演会「なるほど！なっとく！！高次脳機能障害」

地域の事業所からの相談や研修依頼への対応

## 2. 当事者・家族への相談・助言

**ファミリークラブ**

## 3. 当事者支援は生活の自立と就労等を支援

障害福祉サービス（相談支援事業・地域活動支援事業）



## 事業所説明①

# 高次脳機能障害者サポートセンター 笑い太鼓

- 設立 2008年5月 名古屋市地域生活支援事業：地域活動支援センター（デイサービス型）

高次脳機能障害者が、  
今ある機能を生かしながら日々  
の生活をエンジョイすることと、  
少し時間をかけて社会参加を  
目指すことを目的に、単なる作業  
所や、デイサービスという枠に  
とらわれない新しい試みの施設  
を目指して運営を開始



当事者同士がサポートし合える“サポートセンター”を目指しています

## 事業所説明②

高次脳機能障害相談支援センター

2008年10月開始

高次脳機能障害相談支援センター 笑い太鼓名古屋

2010年4月開始

- ・ 体調が悪い
- ・ 病気の時
- ・ 病気の予防

**ホームドクターがいれば安心**

- ・ 借金のトラブル
- ・ 法律のトラブル

**顧問弁護士がいれば安心**

- ・ 障害について悩んだり、
- ・ 生活で困ったりしたとき、
- ・ 不安に駆られたとき

**相談支援専門員がいれば安心**

※ステージが変わっても、いつでも相談できる場所、相談できる人がいるから安心

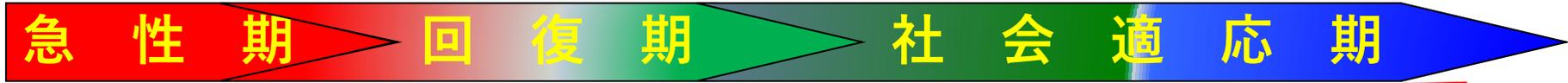
笑い太鼓が相談支援専門員に期待すること

ライフステージに応じる社会通念  
高次脳機能障を正しく理解しケースに汎用できる専門性

笑い太鼓は  
2つの事業を介して  
家族支援しています。

# 家族支援の必要性

家族は最も身近な支援者であり家族という環境



ご本人の回復  
リハビリの流れ

発症・受傷  
の混乱を支  
える

医療機関でのリハビリ

在宅生活の再開安定化

社会参加・就労（復職）



命拾いして助かった

頑張って訓練して元に戻る  
「治る」ことに期待が強まる

治ったら職場（学校）へ戻れる  
これで生活ももとに戻れると安心

治って退院したと思ったら  
何か違う  
不安（経済不安、  
介護負担、周囲の無理解）

問題行動に戸惑う

どうしたらいいかわからない  
家族関係の再構築（崩壊）

本人の障害を家族が受け止  
められない

家族も  
支援の  
対象

# 家族の困りごと

- いろいろな変化に戸惑う
  - 人生計画が狂う
  - 仕事が続けられない
  - 趣味や楽しみが続けられない
  - 意志の疎通にいつも努力が必要
- さまざまな不安、問題
  - この先どうなるのか・・・
  - 経済的な不安
  - 体調の変化や再発の心配
  - 周囲の人たちの無理解や誤解
  - 友人や親戚と疎遠になる
- そばにいる家族の気持ち
  - 不安、動揺、悲しみ
  - 自分を責めてしまう
  - すごく損をしている気がする
  - 自分だけ楽しんでいると後ろめたい施設に送り出すのが申し訳ない
  - 自分のための時間がない
  - 働きに行くにも本人を一人にできない



# 当事者も困っています

- 言いたい言葉が見つからない
- 頭が真っ白になると何もわからない、何も思い出せない
- 自分で自分の気持ちがわからない
- 映画を見てもストーリーを追えない
- 同じ本を何度も読み返す
- 会話についていけない
- 買い物でお金の計算ができない
- 人の集まるところには行きたくない
- 日記を書いても本当に自分が書いたのかと疑う

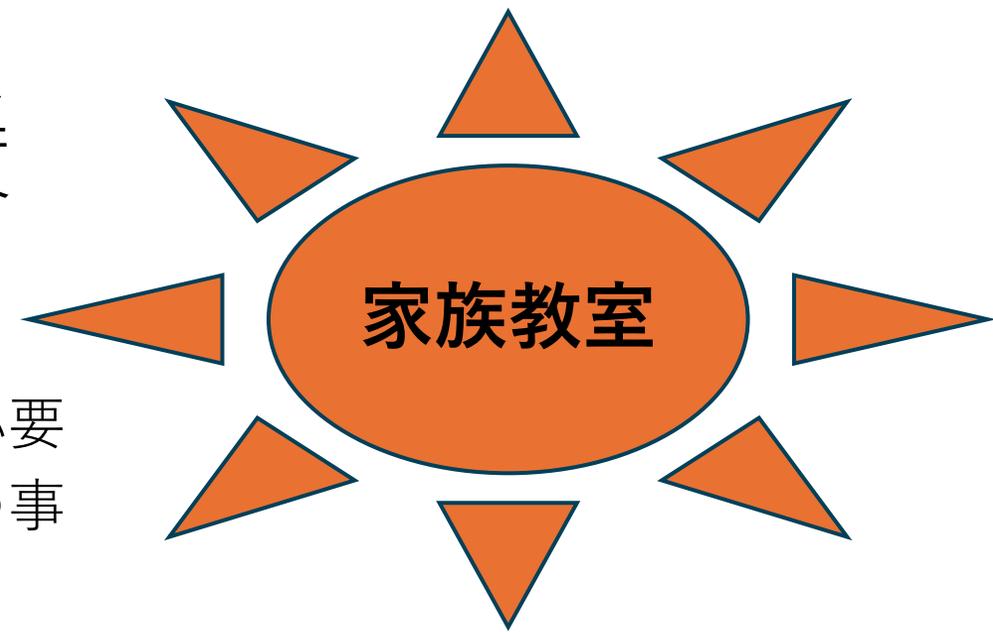
# 笑い太鼓が考える家族支援

- 家族が困っている事を客観的に見る目、聞く耳が必要
- 本だけではわからない高次脳機能障害の事や本人の事
- 家族と本人をバランスよく考えること



そのために...

高次脳機能障害を家族と当事者で勉強



家族教室とファミリークラブの2本立て  
知識を得る場所と経験を語り合う場所を提供している。

## 笑い太鼓



## ファミリークラブ

毎月第1土曜日に13時からサロンを開いています

お茶を飲みながら皆さんでお話ししませんか？

場所：サポートセンター笑い太鼓

お気軽にお越しください！

お問い合わせは 052-981-3033 石川まで

ファミリークラブ  
毎月第1土曜日  
名古屋事業所で開催

主催者：笑い太鼓  
参加者：家族中心  
＋  
時には支援者  
時には当事者

遠方の方でもZoomで  
参加されています

# ある日のファミリークラブ

# ファミリークラブに参加した家族

- 退院したばかり、今後よくなるにはどうすればいいか？
- 日中活動をさがしてた。復職希望である。そのためのリハビリは？
- 現在就労リハ中だが、家族への暴言が多く、家族はつらい・・・。
- 今まで元気だった夫の介護を行うなかで嫌ではないが、これまで一緒にやっていたレジャーやイベント、旅行、楽しみ全般に興味がない夫の傍で私もすべてを諦めなければならないのか？
- 何年経っても生きづらい、特に職場でうまくいかない夫の顔を見るのがつらい・・・。
- 「私は1つの事しかできない！」と自分中心の主張ばかりで妻が家事をしない。
- すぐ怒る。不安になりやすい。子供への負担が大きい。みんなどうしているのか？
- 気に入らない一言で爆発する。容量が小さいので言っても無駄。
- この現実を「仕方がない」と思うしかないのか？

# ファミリークラブに参加した当事者

- ・何年経っても生きづらい、特に職場でうまくいかない。
- ・障害があっても普通でありたいと思っていたが・・・
- ・第3者に助けてもらう、教えてもらう事が必要！とわかってきた。
- ・今、代償手段がわかってきているところだよ。
- ・本人の心得「言われたことはしっかりやろう！」
- ・直すべきところがわからない。
- ・じっとできない。
- ・やりたいと思ったらすぐ動いちゃう。
- ・マルチタスクができない。
- ・あれもこれも気になる。
- ・切り替えができない。

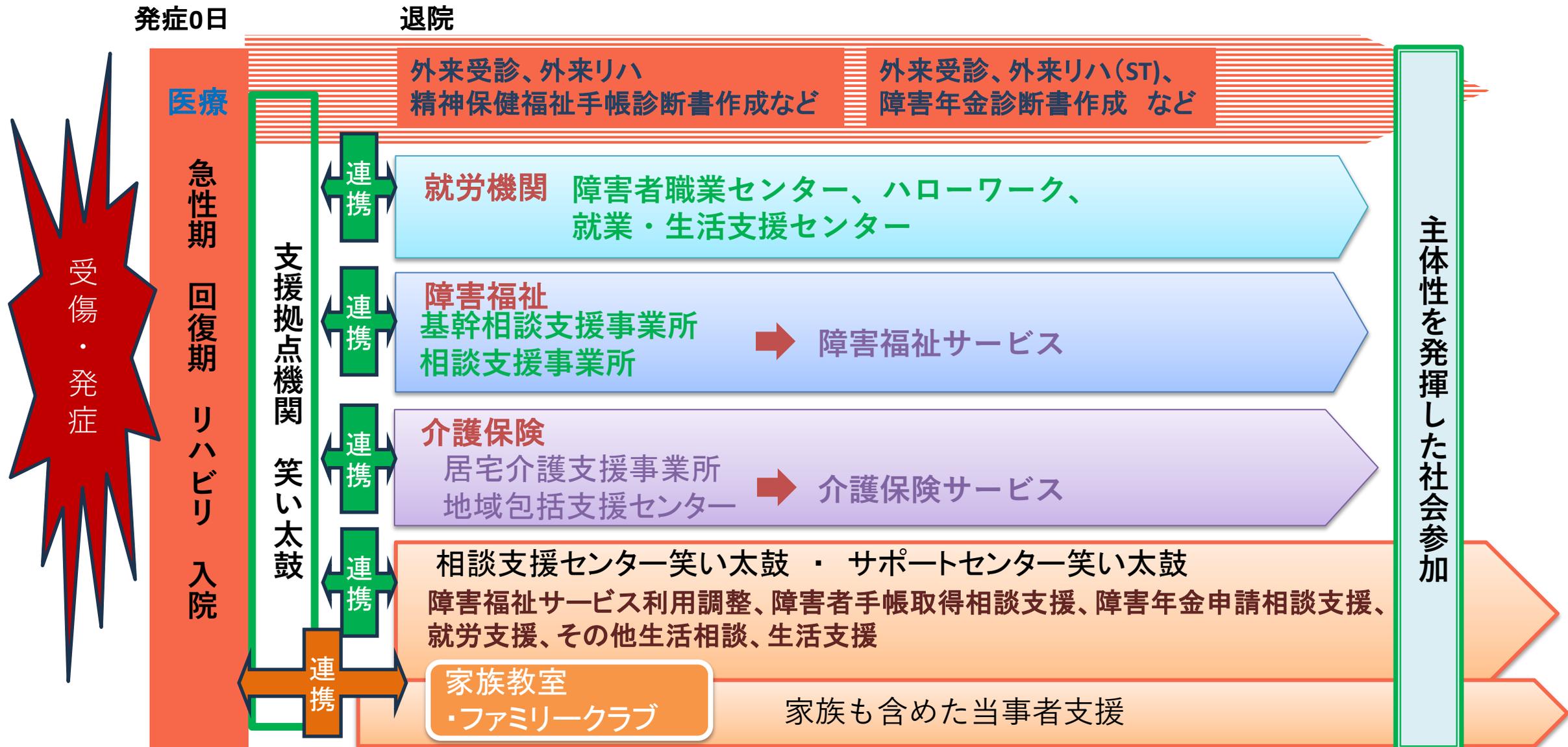
疑問の解消

不安の軽減

これが  
笑い太鼓のファミリークラブで目指す事です。

# 支援拠点機関との連携について

## 笑い太鼓は途切れない連携・協働を目指す



笑い太鼓は  
地域活動支援事業と  
相談支援事業と  
支援拠点機関

法人全体で支える  
家族への支援

ご清聴ありがとうございました